

[ロシア語]

基礎ロシア語

授業科目概説

ロシア語の未履修者を対象として、ロシア語の基礎的運用能力をつけさせることを目的とします。文法及び読本の教材や、音声教材を多用することにより、読解力だけでなく、確実に理解されうる発音と聞き取る力、さらにロシア語の背景にある文化を理解できる力を養います。

履修方法

4月開講の「基礎ロシア語Ⅰ」の履修を希望する者は、必ず第1回目の授業に出席してください。履修希望者数がクラス定員を超過した場合には、第1回目の授業に出席しなかった者の履修は認められません。

第1 Semesterに「基礎ロシア語Ⅰ」（「基礎ロシア語Ⅰ-1」「基礎ロシア語Ⅰ-2」）、第2 Semesterに「基礎ロシア語Ⅱ」（「基礎ロシア語Ⅱ-1」「基礎ロシア語Ⅱ-2」）を履修します（授業科目名に含まれるハイフン以下の数字は、1が奇数クォーター、2が偶数クォーターに開講されることを意味します）。それぞれ週2回の授業で、連続した内容です。単位はSemester毎に各2単位が認定されます。すなわち、「基礎ロシア語Ⅰ-1」「基礎ロシア語Ⅰ-2」を連続して履修することで2単位、「基礎ロシア語Ⅱ-1」「基礎ロシア語Ⅱ-2」を連続して履修することで2単位が認定されます。

また、「基礎ロシア語Ⅰ」の単位を修得した者だけが「基礎ロシア語Ⅱ」を履修できます。

なお、10月入学者のために、第2 Semesterに「基礎ロシア語Ⅰ」を、第3 Semesterに「基礎ロシア語Ⅱ」をそれぞれ1クラス開講します。このクラスの定員は40名とし、10月入学者の受講希望者が定員に満たない場合に限り、以下の優先順位で10月入学者以外の全学部の学生の受講を認めます。

- ① 第1 Semesterでロシア語以外の初修外国語「基礎〇〇語Ⅰ」の単位を修得した者
- ② 第1 Semesterで「基礎ロシア語Ⅰ」の成績がDかEであった者
- ③ 第1 Semesterでロシア語以外の初修外国語「基礎〇〇語Ⅰ」の成績がDかEであった者

展開ロシア語（平成29年度）

授業科目概説

「展開ロシア語Ⅰ・Ⅱ」では、ロシア語の中級文法を学びつつロシア語の音韻及び文法に対する言語学的アプローチを学び、同時に正確な読解力を養います。また、「展開ロシア語Ⅲ」・「展開ロシア語Ⅳ」においては、中級文法を終えたのち上級文法のうち必要な項目を学び、露文原典の精読により高度な読解力を養います。対象は既修者。

履修方法

第3 Semesterに「展開ロシア語Ⅰ」、第4 Semesterに「展開ロシア語Ⅱ」を履修します。

「展開ロシア語Ⅰ」、「展開ロシア語Ⅱ」は**文系の学生のほか理系の学生でロシア語を継続して学びたい者を対象として実施する**授業科目で、それぞれ週1回の授業で、単位はSemester毎に各2単位が認定されます。

「基礎ロシア語Ⅱ」の単位を修得した者だけが「展開ロシア語」を履修できます。

「展開ロシア語Ⅰ」および「展開ロシア語Ⅱ」は「文系」クラスと「理系」クラスの2クラスを開講しますが、「展開ロシア語Ⅰ」と「展開ロシア語Ⅱ」は同一クラスで履修することを原則とします。

「展開ロシア語Ⅱ」は「展開ロシア語Ⅰ」の単位を修得した者が履修することを原則としますが、「展開ロシア語Ⅰ」を履修して単位を修得できなかった場合も「展開ロシア語Ⅱ」を履修することは可とします。ただし、この場合は翌年以降に「展開ロシア語Ⅰ」を再履修する必要があります。

また、「展開ロシア語Ⅰ」、「展開ロシア語Ⅱ」のいずれかの単位を履修した者のうち、希望者は第5 Semesterに「展開ロシア語Ⅲ」、第6 Semesterに「展開ロシア語Ⅳ」を履修することができます。

展開ロシア語（平成30年度以降）

※詳細は、来年度配付する「全学教育科目履修の手引」で確認してください。

授業科目概説

「展開ロシア語Ⅰ・Ⅱ」では、ロシア語の中級文法を学びつつロシア語の音韻及び文法に対する言語学的アプローチを学び、同時に正確な読解力を養います。また、「展開ロシア語Ⅲ」・「展開ロシア語Ⅳ」においては、中級文法を終えたのち上級文法のうち必要な項目を学び、露文原典の精読により高度な読解力を養います。対象は既修者。

履修方法

第3セメスターに「展開ロシア語」（「展開ロシア語Ⅰ－1」「展開ロシア語Ⅰ－2」）、第4セメスターに「展開ロシア語」（「展開ロシア語Ⅱ－1」「展開ロシア語Ⅱ－2」）を履修します（授業科目名に含まれるハイフン以下の数字は、1が奇数クォーター、2が偶数クォーターに開講されることを意味します）。

それぞれ週1回の授業で、単位はセメスター毎に各2単位が認定されます。すなわち、「展開ロシア語Ⅰ－1」と「展開ロシア語Ⅰ－2」を連続して履修することで2単位、「展開ロシア語Ⅱ－1」と「展開ロシア語Ⅱ－2」を連続して履修することで2単位が認定されます。

「展開ロシア語Ⅰ」、「展開ロシア語Ⅱ」は文系の学生のほか理系の学生でロシア語を継続して学びたい者を対象として実施する授業科目です。それぞれ週1回の授業で、単位はセメスター毎に各2単位が認定されます。

「基礎ロシア語Ⅱ」の単位を修得した者だけが「展開ロシア語」を履修できます。

「展開ロシア語Ⅰ」および「展開ロシア語Ⅱ」は「文系」クラスと「理系」クラスの2クラスを開講しますが、「展開ロシア語Ⅰ」と「展開ロシア語Ⅱ」は同一クラスで履修することを原則とします。

「展開ロシア語Ⅱ」は「展開ロシア語Ⅰ」の単位を修得した者が履修することを原則としますが、「展開ロシア語Ⅰ」を履修して単位を修得できなかった場合も「展開ロシア語Ⅱ」を履修することは可とします。ただし、この場合は翌年以降に「展開ロシア語Ⅰ」を再履修する必要があります。

また、「展開ロシア語Ⅰ」、「展開ロシア語Ⅱ」のいずれかの単位を履修した者のうち、希望者は第5セメスターに「展開ロシア語Ⅲ－1」と「展開ロシア語Ⅲ－2」、第6セメスターに「展開ロシア語Ⅳ－1」と「展開ロシア語Ⅳ－2」を履修することができます。

* 注意

履修カードの提出（「基礎ロシア語」及び「展開ロシア語」に共通）

「基礎ロシア語Ⅰ-1・Ⅰ-2, 基礎ロシア語Ⅱ-1・Ⅱ-2, 基礎ロシア語Ⅱ(10月入学者向けクラス)」、「展開ロシア語Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ」のいずれのクラスにおいても、履修カードを担当教員に提出しなければ履修が認められません。Web履修登録だけでは履修が認められないので、特に注意してください。

履修カードは指定の日までに教室で本人が直接担当教員に提出し、履修の許可を得てください。履修カードは教室でのみ受け付けます。また、2クラス以上に重複して提出することは認めません。

初修語の履修について

授業クラスの人数的関係で希望の語種クラスが履修できない場合があります。担当教員の指示に従って履修クラスを決定してください。

なお、視覚・聴覚などの問題で特別な配慮が必要な場合は、他クラス履修または指定クラスの変更を斡旋します。詳細については、担当教員に相談してください。

成績評価方法

ロシア語教科の成績は、「全学教育科目の成績評価等の取り扱いについて」とおり、「成績が特に優秀であるもの」を「AA」、「成績が優秀であるもの」を「A」、「成績が良好であるもの」を「B」、「成績が可であるもの」を「C」、「成績が不可であるもの又は履修を放棄したものを「D」とします。

再履修について

「基礎ロシア語Ⅰ」は「**基礎ロシア語Ⅰ**」、「基礎ロシア語Ⅱ」は「**基礎ロシア語Ⅱ**」で再履修してください。

「展開ロシア語Ⅰ」は「**展開ロシア語Ⅰ**」、「展開ロシア語Ⅱ」は「**展開ロシア語Ⅱ**」で再履修してください。

「基礎Ⅰ」が不合格だった場合の次セメスターにおける「基礎Ⅰ」と「基礎Ⅱ」の同時履修、「基礎Ⅱ」が不合格だった場合の次セメスターにおける「基礎Ⅱ」と「展開Ⅰ」の同時履修等、異なるレベルの科目を同時に履修することはできません。但し、「展開Ⅰ」と「展開Ⅲ」、「展開Ⅱ」と「展開Ⅳ」の組み合わせに限って、前年度以前に「展開Ⅰ」および「展開Ⅱ」の両方を履修したが一方が不合格であったという場合にのみ、同時履修を認めます。

他組履修について

「展開ロシア語Ⅰ」および「展開ロシア語Ⅱ」については、文系学部の学生は「文系」クラスで、理系学部の学生は「理系」クラスで履修することを原則とします。

他組履修は、授業担当教員が許可した場合のみ、次の要領で認めます。

- ・文系学部2年次の学生は「文系」クラスで履修することを原則としますが、真にやむを得ないと認められる理由がある場合にのみ「理系」クラスで履修することを認めます。
- ・文系学部3年次以上の学生(再履修者を含む)については「文系」クラスで履修することを原則としますが、相当と認められる理由があれば「理系」クラスで履修することを認めます。
- ・理系学部の学生は「理系」クラスで履修することを原則としますが、相当と認められる理由があれば「文系」クラスで履修することを認めます。

複数履修について

同一名称の授業科目を複数履修することは、「展開ロシア語Ⅰ」および「展開ロシア語Ⅱ」については認めませんが、「展開ロシア語Ⅲ」および「展開ロシア語Ⅳ」については認めます。但し、複数履修しようとする場合には、Web履修登録を行う前に必ず担当教員と相談するようにしてください。

また、上記のこととは別に、「展開ロシア語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」のいずれについても、**正規履修者数が定員に満たない場合に限り**、既に履修済みの授業科目を単位とは無関係に聴講することは認めます。この場合には、初回授業日に(もし初回授業日に出席不可能な場合にはメールで)当該科目を聴講したい旨担当教員に申し出てください。なお、**4月入学者向け全学部対象クラスの「基礎ロシア語Ⅰ」、「基礎ロシア語Ⅱ」は履修希望者が多いので、正規履修者以外の聴講は認めません。**